

モデルコース⑥「修験者と登拝」
 ご利益登山「一合目から富士講登山」(吉田口コース)1/2




北口本宮富士浅間神社(大鳥居)



中ノ茶屋(石碑)



馬返

| | |
|--|--|
| <p>コース特徴</p> | <p>現在も往時の登拝ルートが残る吉田口を巡るコース。 コース行程が長いので、複数回に分けて十分に安全に配慮したうえで行かれることをお奨めします。</p> |
|  <p>行程表の表示 主に徒歩による移動を想定 ===== 車等による移動を想定</p> | <p>北口本宮富士浅間神社(参拝・御祈祷) … 吉田口遊歩道 … 泉瑞(修験者の水垢り場) … … 中ノ茶屋 …… 馬返(一合目) … 富士御室浅間神社(本宮)(二合目) …… 御釜 …… … 中食堂(三合目) …… 御座石浅間神社(四合五勺) …… 佐藤小屋(五合目) … 富士スバルライン五合目 …… 六合目 …… 七合目 …… 元祖室(八合目) … 迎久須志神社(九合目) …… 久須志神社(富士山頂)</p> <p>※上記コースを、区間ごと3～4回に分けて登拝、5合目以上は山小屋宿泊のうえ1泊2日を推奨</p> |
| <p>キーワード「修験者と登拝」</p> | <p>12世紀頃になり富士山の噴火活動が鎮まったことから、修験者と呼ばれる宗教者たちは、富士山を山岳修行の地として、富士山の神仏から霊力を得るために山頂を目指す「登拝」を志すようになっていきました。14世紀以降になると登拝の文化が広がり、道者と呼ばれた庶民の信者も、修験者に導かれて登拝を果たすようになりました。須山浅間神社、富士浅間神社など登山口の浅間神社を拠点とする各登山道(このコースでは、吉田口登山道)の整備が進みました。</p> |
| <p>移動手段</p> | <p>北口本宮富士浅間神社より徒歩</p> |

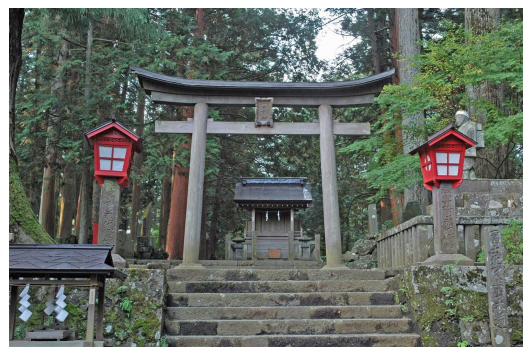


関連施設所在地

| 施設名 | 所在地 | アクセス等 |
|------------|-----------------|--|
| 北口本宮富士浅間神社 | 山梨県富士吉田市上吉田5558 | 中央自動車道・河口湖ICから車で約5分 富士急行・富士山駅から車で約3分、バスで約5分(浅間神社前バス停下車徒歩0分) |

※最新の施設情報・費用等、事前に十分確認いただいたうえ、御自身の責任で訪問されるようお願いいたします。
※移動方法は例示となります。また、移動時間等も実際の交通状況等により変動しますので御注意ください。
※開山期間中、富士スバルライン(吉田口)は、マイカー規制があり、マイカーで移動される場合は吉田口臨時駐車場(山梨県立富士北麓駐車場)にて駐車後、シャトルバス・タクシーに乗り換えとなります(有料)。事前に詳細を御確認ください。

本コースにおける世界遺産構成資産



北口本宮富士浅間神社 登山門

- ・**山頂の信仰遺跡群(構成資産1-1)**
修験者の登拝が始まると、山頂の火口壁に沿って信仰の拠点が建てられました。火口の周囲にある8つの峰を、極楽浄土を表す八葉蓮華(はちようれんげ)に見立てて巡る「お鉢巡り」も行われました。
- ・**北口本宮富士浅間神社(構成資産1-6)**
浅間大神が祀られていた遥拝所を起源として建立されたと伝えられる浅間神社。後に、吉田口登山道の起点として富士講とともに発展した神社です。
- ・**富士御室浅間神社(構成資産8)**
富士山中に最も早く祀られたともいわれる浅間神社。吉田口登山道の二合目に修験や富士講の拠点である本宮が、川口湖畔に移築後の社殿が現存する里宮が置かれています。